

(別紙様式)

# 平成30年度学校自己評価システムシート (県立ふじみ野高等学校)

目指す学校像	学習とスポーツ・文化活動を両立し、地域に元気・感動・夢を発信する学校
--------	------------------------------------

重点目標	1 基礎学力の向上と授業の充実 2 基本的生活習慣と規範意識の質的向上 3 キャリア教育の充実と進路実績の向上 4 部活動・生徒会活動・ボランティア活動の充実と発展
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	3名

学 校 自 己 評 価					年度評価 (平成31年2月1日現在)		
年 度 目 標			年度評価 (平成31年2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○現状 85.9%の生徒が授業に意欲的に取り組んでおり、75.6%の生徒が授業の内容を理解している。調査前の学習時間を1~2時間、2時間以上確保している生徒が61.4%いる。</p> <p>○課題 ・引き続き全教員の共通理解の下、将来の目的に向けて主体的に学習に取り組み、基礎学力の向上に向けて継続して授業改善に取り組む必要がある。</p>	目的を持って学習に主体的、意欲的に取り組む生徒の育成	<p>①アクティブラーニング等の手法を取り入れた授業改善、研究協議を実施する。公開授業週間等を活用して授業力を向上する。</p> <p>②チャイムトゥチャイムによる授業を教員・生徒とも徹底する。</p> <p>③3年間を見通して英検IBA等の各種検定に全校体制で取り組む。</p> <p>④行事日程を精選し、可能な限り授業を確保する。</p>	<p>①アクティブラーニングの実施、授業参観者数、研究授業実施者数等の実施状況</p> <p>②チャイムトゥチャイムの実施状況</p> <p>③各種検定の実施回数と受験者数・合格者数</p> <p>④行事日程の工夫、授業カウント表の作成</p>	<p>生徒が主体的・意欲的に学習に取り組むように、教科等の枠を越えて連携して指導を工夫・改善することに努めた。</p> <p>①授業参観期間に将来構想委員会による授業参観(学び合い)を行った。また、年間を通じて研究授業をアクティブラーニング4回(授業者4名)、年次研修8回(5名)を実施して参観者数の増加につなげた。</p> <p>②年間を通じて実施した。</p> <p>③7種の検定を延べ11回実施した。(合格延べ数44名)</p> <p>④実施。次年度に向けてアンケートを行った。</p>	B	<p>①設定期間だけでなく、情報交換できるような工夫に努める。</p> <p>②全職員が協力して継続実施できる体制を継承する。</p> <p>③各種検定の受験状況の情報を共有し、英検IBAを定着させていく。</p> <p>④アンケート結果を踏まえて行事日程を精選し編成する。</p>
2	<p>○現状 出席状況、身だしなみ、清掃活動、交通マナー等の基本的生活習慣等は概ね良好である。</p> <p>○課題 ・特定の期間における遅刻者数を減らす必要がある。</p> <p>・登下校時における車との接触事故が発生しないようにする。</p> <p>・進路変更する生徒を減らす。</p>	「時を守り場を清め礼を正す」や規範意識の向上に主体的に取り組む生徒の育成	<p>①生活指導、交通安全マナーアップ、校内環境美化を徹底する。</p> <p>②年間を通じて遅刻指導を継続し、特定期間を重点的に指導する。</p> <p>③二者面談、三者面談の実施、スクールカウンセラーの活用等の情報共有を積極的に行い、組織的に教育相談を実施する。</p>	<p>①生徒指導件数、交通事故件数、年3回の部室清掃の実施</p> <p>②出席状況(皆勤者数、精勤者数)</p> <p>③学校評価アンケートの評価</p> <p>④SCの相談件数、個人面談の実施状況</p> <p>⑤中途退学者、転学者数</p>	<p>学年・分掌がきめ細かく指導し、全校体制で取り組み生徒の規範意識を高めることができた。</p> <p>①生徒指導件数14件・22名、交通事故0件、1年を通じて部室清掃を実施した。</p> <p>②出席率98.4%となった。2学期の皆勤者数398名(57.8%)、精勤者数43名(6.2%)。</p> <p>③遅刻者数延べ117名減少した。</p> <p>④12月にアンケートを実施した。</p> <p>⑤相談・面談件数46回、養護教諭への相談件数12件だった。 ※特別支援教育コーディネーターを含む</p> <p>⑥中途退学者3名、転学者8名</p>	B	<p>①規範意識をさらに向上させるために、きめ細かな生活指導、登校・巡回指導を継続する。</p> <p>②全職員が共通理解で取り組めるように工夫する。</p> <p>③生徒・保護者の精神的なケアを組織的に行うように努める。</p>
3	<p>○現状 生徒の進路希望に応じた3年間を見通した進路指導により、「学校幹旋就職率100%」、生徒の希望している進路実現ができています。</p> <p>○課題 ・生徒の進路目標を早期に明確にするとともに、希望する進路実現に応えるため、進路指導体制を充実・発展する必要がある。</p>	希望する進路に向けて意識を高め、意欲的に取り組む生徒の育成	<p>①上級学校への進路実現に向けた補講や補習、対策講座を組織的に行う。</p> <p>②3年間を見通して就労体験活動や各種ガイダンス等を実施する。</p> <p>③保護者対象の進路説明会、進路バス見学会、PTA参加の模擬面接会等を実施して、PTAとの連携を密にする。</p>	<p>①補講や補習、対策講座の実施状況、希望する進路実現の状況、未決定者の減少</p> <p>②進路関係情報の提供回数、ガイダンス等の実施状況、参加生徒のアンケート評価</p> <p>③保護者からの評価</p>	<p>能力・適性に応じた進路実現に向けて、生徒が積極的に取り組むよう、全職員が組織的に支援した。</p> <p>①全校体制で夏季・冬季の休業中に進学補講を実施した。(1年生16名、2年生21名、3年生12名、合計49名)</p> <p>②個別の面接指導、エントリーシート等の指導を通年実施した。12月末に学校幹旋就職率100%、生徒が希望する上級学校への進学を実現させた。</p> <p>③各学年で進路ガイダンス実施した。</p> <p>④就労体験では生徒「充実していた89.5%」、保護者「この体験が必要である95.0%」等、好評だった。</p> <p>⑤進路バス見学会に13名参加した。模擬面接会では、保護者のべ48名、企業・大学等の関係者及び地域住民等約20名が面接官となり協力して御指導いただいた。</p>	A	<p>①進学補講は次年度以降も継続する。</p> <p>②行事の精選を行い、可能な範囲で授業確保に努め、学力向上に努める。</p> <p>③生徒、保護者ともまたやってみたい(やらせたい)と回答していることから、今後も継続していくことを検討する。</p> <p>④PTA主催の模擬面接は継続する。</p>
4	<p>○現状 ・多数の運動部が全国・関東大会に出場するとともに、全体として競技力が向上している。また、文化部は意欲的に活動をしている。</p> <p>・生徒会活動も活発化しており、行事に対する生徒の意識は高まっている。</p> <p>・生徒会が中心となりボランティア活動を行っている。</p> <p>○課題 ・競技実績を向上させるとともに主体性を育み、自己肯定感を持たせる。</p> <p>・文化部活動を活性化させる。</p> <p>・部活動やボランティア活動を通して、社会人としてのコミュニケーションスキルを向上させる。</p> <p>・積極的に情報発信する。</p>	何事に対してもチャレンジする勇氣とコミュニケーション能力を持った生徒の育成	<p>①埼玉県教育環境基金の本校のプランを実現する。</p> <p>②外部指導者を活用するとともに、科学的、効果的に練習を行い、上部大会に出場させる。</p> <p>③交流、ボランティア等、地域における事業に生徒・教員を積極的に派遣する。</p> <p>④中学校訪問の実施、各種教育団体等の視察等を積極的に受け入れる。</p> <p>⑤生徒の活動をホームページに掲載、一斉メール配信システム等を有効活用する。</p>	<p>①基金の活用を実現</p> <p>②部活動実績</p> <p>③派遣回数と参加生徒数</p> <p>④中学校訪問の回数・人数、視察等の状況</p> <p>⑤ホームページの更新回数、メール配信の回数</p>	<p>部顧問・担当教諭等の熱心な指導により、目標達成に向けて積極的に努力する生徒の育成に努めた。</p> <p>①基金の活用を実現。</p> <p>②全国大会出場3部、関東大会出場4部、県ベスト8進出5部など、上位の成績を収めた。</p> <p>③例年の活動に加え、新規にふじみ野市や文京学院大学との連携事業に積極的に参加するなどした。</p> <p>派遣回数31件、生徒数450名、職員58名を派遣した。</p> <p>④ホームページ更新222回(昨年比56回増)、メール配信63件(昨年比39件増)を実施した。</p> <p>⑤中学校訪問2回(教員延べ208人)、塾訪問2回(教員延べ44人)を実施した。</p>	A	<p>①埼玉県教育環境基金を有効活用する。</p> <p>②継続して全国大会や関東大会に出場できるよう、部活動の充実を図る。</p> <p>③④学校からの情報発信を積極的に行う。中学校訪問、ボランティア活動を充実させる。また、入試倍率を1.1倍以上確保できるように生徒募集活動を工夫・改善する。</p>

学校関係者評価	実施日 平成31年2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>アクティブラーニングの様々な手法を取り入れ授業に取り組んでいる。具体的な事例や動画等を取り入れるなど、より工夫した授業を展開するとともに規律ある授業を今後も継続してほしい。</p> <p>検定については生徒が積極的にチャレンジできるような環境づくりをするとともに、生徒への周知に力を入れ、新しい大学入試への対応を考えてほしい。</p> <p>調査前に家庭学習をする生徒が増えてきているので学校としてバックアップする体制づくりを検討してほしい。</p> <p>アンケートから生徒と職員、保護者と学校との信頼関係がおおむね良好だと判断でき、非常に嬉しく思う。今後も継続していけるよう、努力してもらいたい。</p> <p>人間関係の構築がうまくできない生徒も増えてきていると聞いている。生徒のコミュニケーションスキルを向上させる指導を重ねて行いながら、SNSの使い方やモラルについても引き続き指導してほしい。</p> <p>スクールカウンセラーの活用を継続してほしい。</p> <p>就労体験活動については生徒、保護者、企業から高い評価を得ている。今後も継続してほしい。</p> <p>生徒の進路決定の時期を早める必要がある。3年間を見通した指導を進めながら、進路を迷っている生徒のために2年生の中盤に進路面談をする必要があるのではないかと。また、選択科目について2学期に見直す場を設定してはどうか。</p> <p>進路意識の高まりを感じている。進学補講等を継続しながら生徒の進路実現につなげてほしい。可能な限り授業確保をして、基礎学力の定着につなげてほしい。また、PTA主催の進路模擬面接会は今後も継続してほしい。</p> <p>部活動や生徒会活動に積極的に参加し、生徒が満足感を持って学校生活を送っていることがうかがえる。今後も生徒の活動が有意義に行えるように学校の体制を強化してほしい。</p> <p>埼玉県教育環境基金でスポーツサイエンス棟に設置されたプロジェクター、スクリーンを有効活用してほしい。</p> <p>限られた時間での練習になるので、科学的な視点を取り入れた練習を学校全体で取り入れたらどうか。また、生徒会が地域の活性化等について住民と意見交換をする場が設けられないか。</p> <p>ホームページのリニューアルや更新を今後も進めてほしい。ホームページに動画を掲載してはどうか。また、地域のラジオ等を活用した広報も検討してほしい。</p> <p>部活動、生徒会活動等を通じてコミュニケーションスキルを高めるとともに自己解決力が育つことを期待している。</p>	